Asrapport Dining Group

平成25年3月期 第2四半期決算説明会

平成24年11月27日

株式会社アスラポート・ダイニング

MARUTAKA TAKANAWA BUILDING 2-16-29 TAKANAWA MINATOKU TOKYO JAPAN

Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved

本日の予定

Ⅰ. 平成25年3月期第2四半期　決算の概要

管理本部長　　齊藤　隆光

Ⅱ. 平成25年3月期第2四半期の振り返りと今後の課題

代表取締役社長　　檜垣　周作

Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

➢ グループ相関図

（平成24年 9月30日現在）

Asrapport Dining

グループ合計　346店舗

PRIME LINK Co., Ltd.

株式会社プライム・リンク

牛角	166 店舗
とりでん	72 店舗
おだいどころ	26 店舗
バニル	1 店舗
ジャンクガレッジ	1 店舗

計：266店舗

とり鉄 YAKITORI

株式会社　とり鉄

とり鉄 YAKITORI	69 店舗
烏鳥天	1 店舗

計：70店舗

FOOD STAND INTERNATIONAL

株式会社フードスタンドインターナショナル（FSI）

たこばやし	7 店舗
うまいもんや	3 店舗

計：10店舗

Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

Ⅰ. 平成25年3月期第2四半期決算の概要

① 連結業績報告

・貸借対照表
・損益計算書
・キャッシュ・フロー計算書

② グループ各社の売上高・損益の構成

・売上高
・営業利益
・EBITDA

③ 連結業績の推移

④ バランスシートの改善

Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

① 連結業績報告　貸借対照表

（単位：百万円）

	24年3月期 期末	25年3月期 第2四半期末	増減		24年3月期 期末	25年3月期 第2四半期末	増減
流動資産	1,364	1,539	175	流動負債	1,169	1,037	▲ 132
固定資産	1,483	1,363	▲ 120	固定負債	660	619	▲ 41
				純資産	1,017	1,246	229
資産合計	2,848	2,902	54	負債/純資産合計	2,848	2,902	54

・資産合計：減価償却、のれん償却等（85百万円）により固定資産は減少したものの、主に営業キャッシュフローによる現預金増加（170百万円）が貢献し、資産合計は54百万円の増加

・負　債　：主に借入金・社債残高減少（95百万円）により、負債合計は173百万円の減少

・純資産　：当第2四半期の利益剰余金の積み増しや増資により、純資産は229百万円の増加

流動比率　148.4%（前期末　116.7%）
自己資本比率　41.4%（前期末　34.4%）
となり、財務の流動性及び安全性は格段に高まる

Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

① 連結業績報告　損益計算書

（単位：百万円）

	24年3月期第2四半期		25年3月期第2四半期		前年同期増減額	期初予想値
	実績	構成比	実績	構成比		
売上高	3,487	100.0%	3,577	100.0%	90	3,603
売上原価	1,904	54.6%	1,916	53.6%	12	－
売上総利益	1,582	45.4%	1,661	46.4%	79	－
販売費及び一般管理費	1,511	43.3%	1,504	42.0%	▲ 7	－
営業利益	70	2.0%	156	4.4%	86	149
経常利益	65	1.9%	153	4.3%	88	141
特別利益	7	0.2%	0	0.0%	▲ 7	－
特別損失	25	0.7%	23	0.6%	▲ 2	－
四半期純利益	34	1.0%	109	3.0%	75	87

- 売 上 高　：昨年の震災等影響からの店舗業績回復、FSIの収益寄与、及び食材外部販売の着手により、90百万円の増加
- 売上総利益　：食材調達や物流の効率化により、利益率が1ポイント改善
- 営業利益　：売上高増加、利益率改善、かつ販売管理費の抑制効果により、86百万円の増加
- 経常利益　：有利子負債の圧縮による支払利息減少も利益押し上げに貢献

収益性が大幅に改善

Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

① 連結業績報告　キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	24年3月期　第2四半期	25年3月期　第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	104	168	64
投資活動によるキャッシュ・フロー	6	▲0	▲7
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 137	1	138
現金及び現金同等物の増減額	▲ 26	169	195
現金及び現金同等物の期首残高	237	510	273
現金及び現金同等物の四半期末残高	210	680	470

- 営業CF　：　主に四半期損益の大幅改善により、64百万円増加
- 投資CF　：　FSIにおける事業譲受資金の支払い等により、7百万円減少
- 財務CF　：　主に短期借入や増資による資金調達により、138百万円増加

フリーキャッシュフローは、前年同期比で57百万円の増加
総キャッシュフローも、前年同期比で195百万円増加

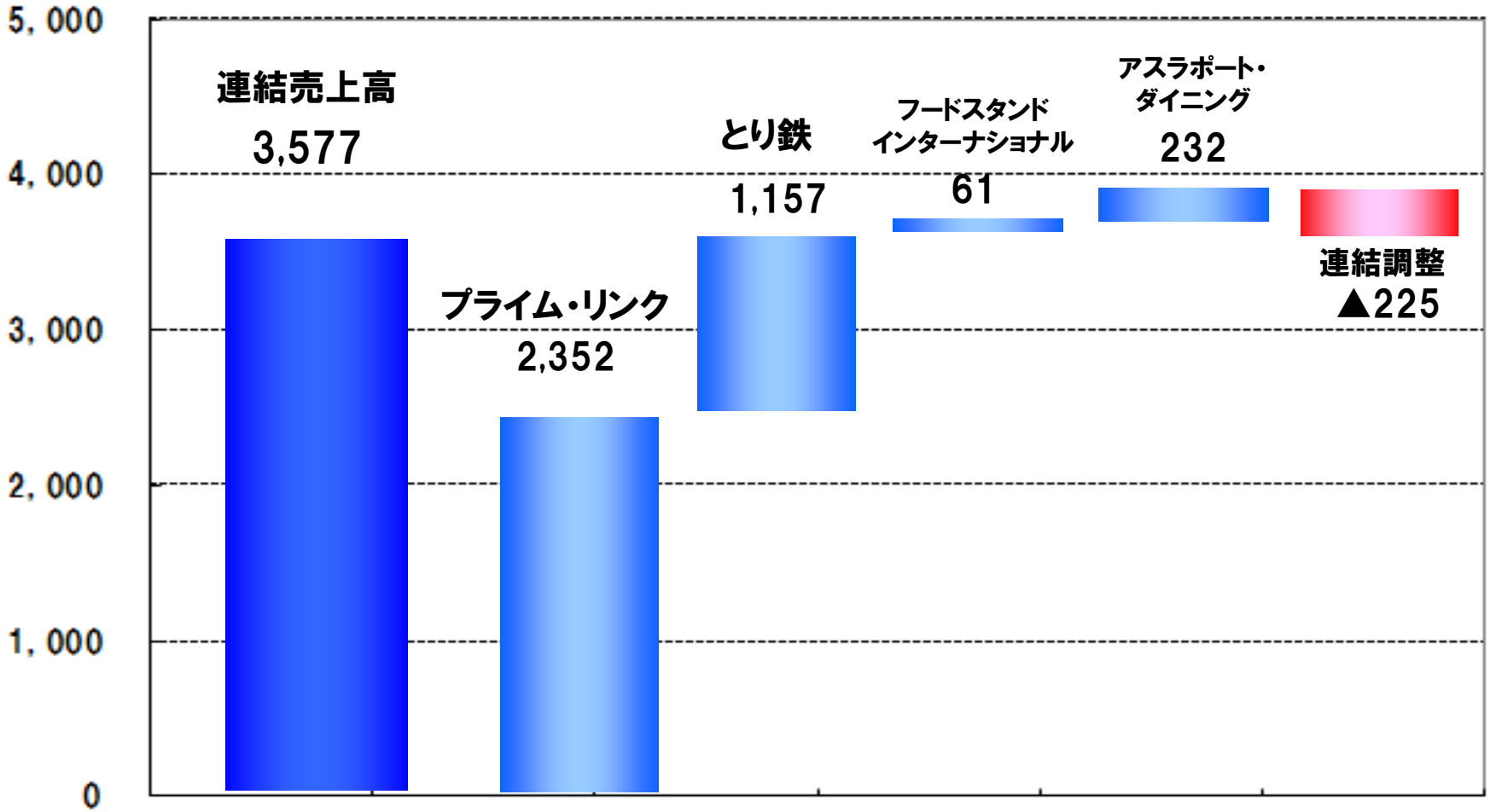
※フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー　＋　投資キャッシュフロー

Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

② グループ各社の売上構成

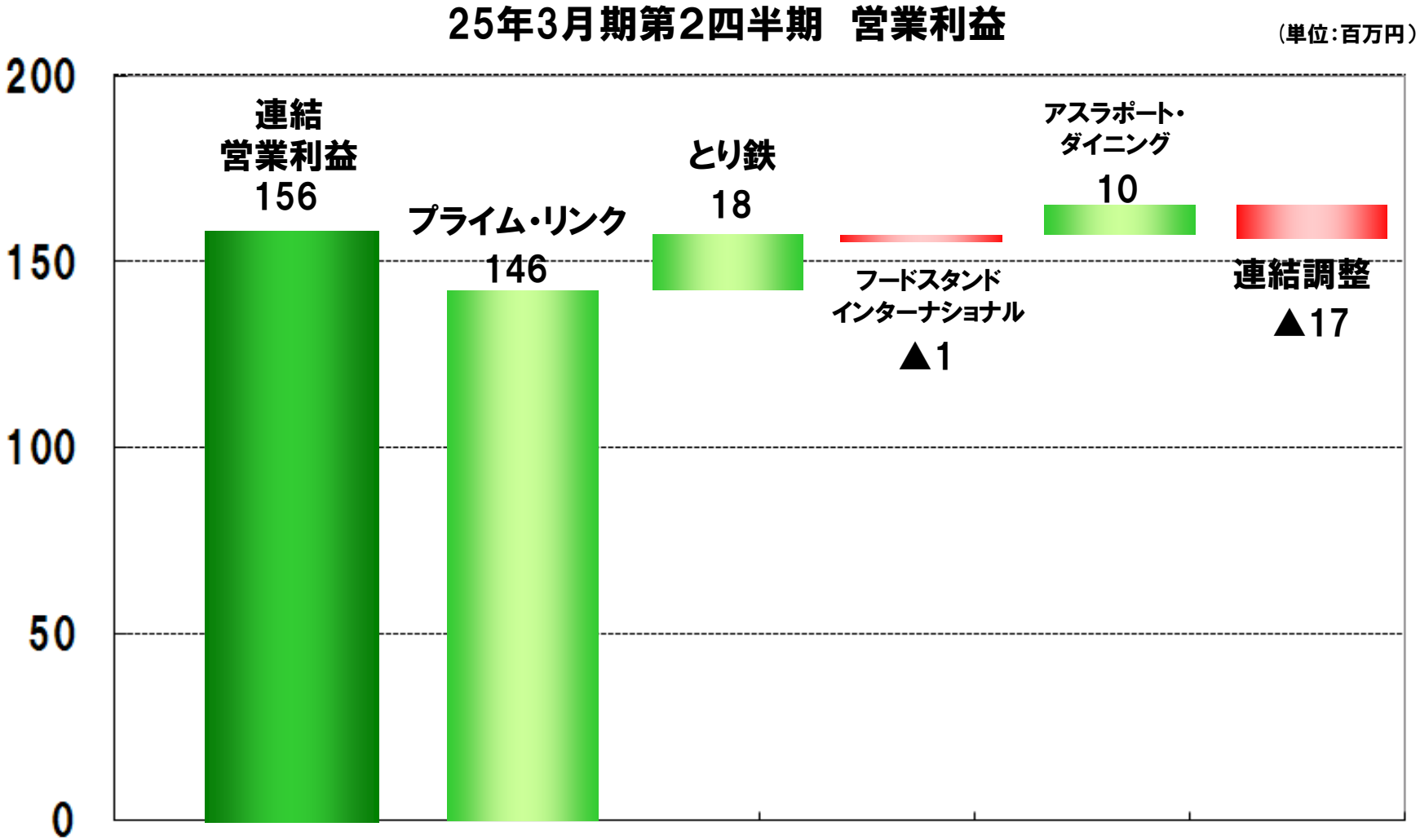
25年3月期第2四半期　売上高

（単位：百万円）



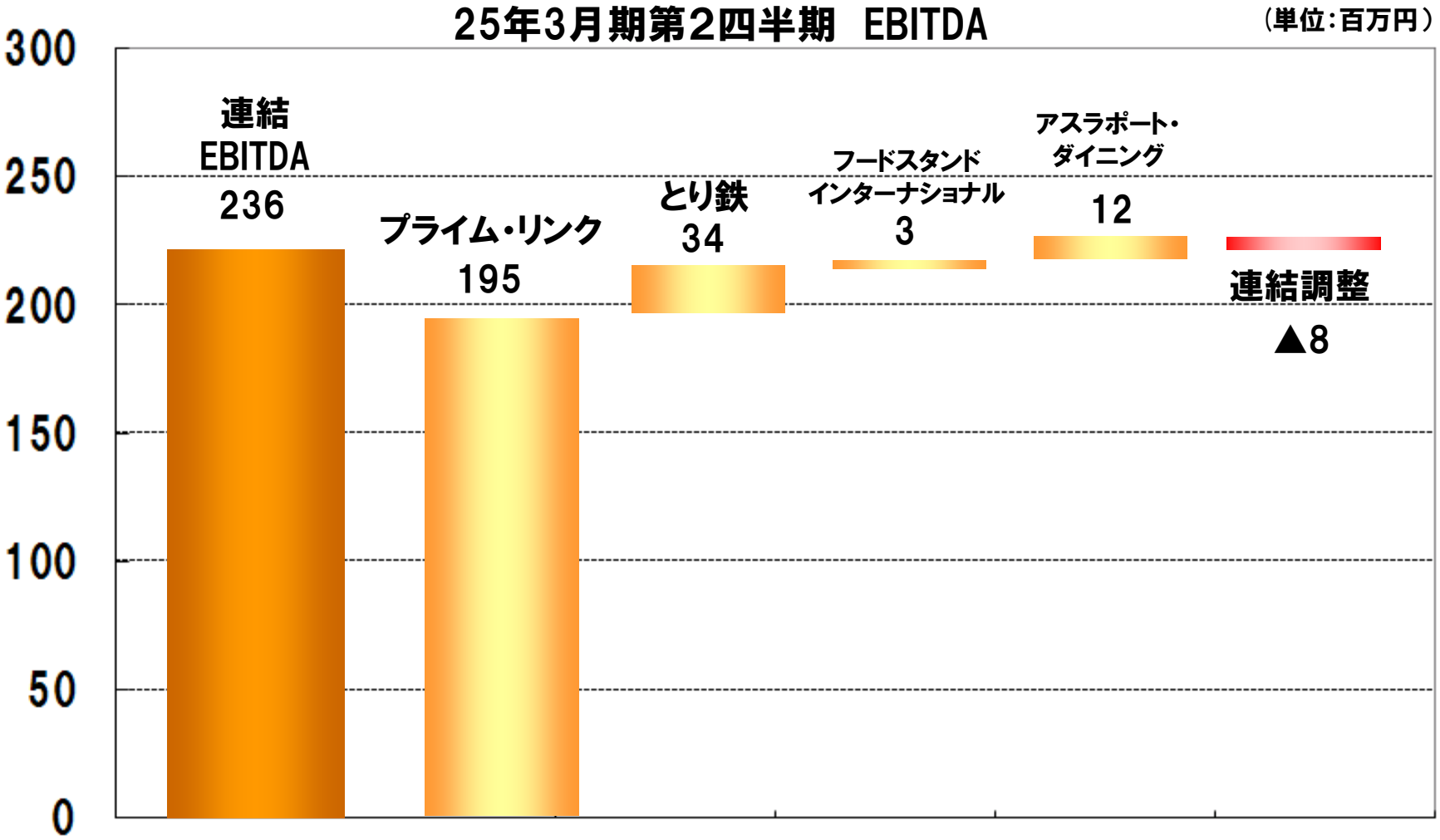
Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

② グループ各社の損益（営業利益）



Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

② グループ各社の損益（EBITDA）



EBITDA ＝ 税金等調整前四半期純利益＋特別損益＋支払利息＋減価償却費

Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

③ 連結損益の推移

（単位：百万円）

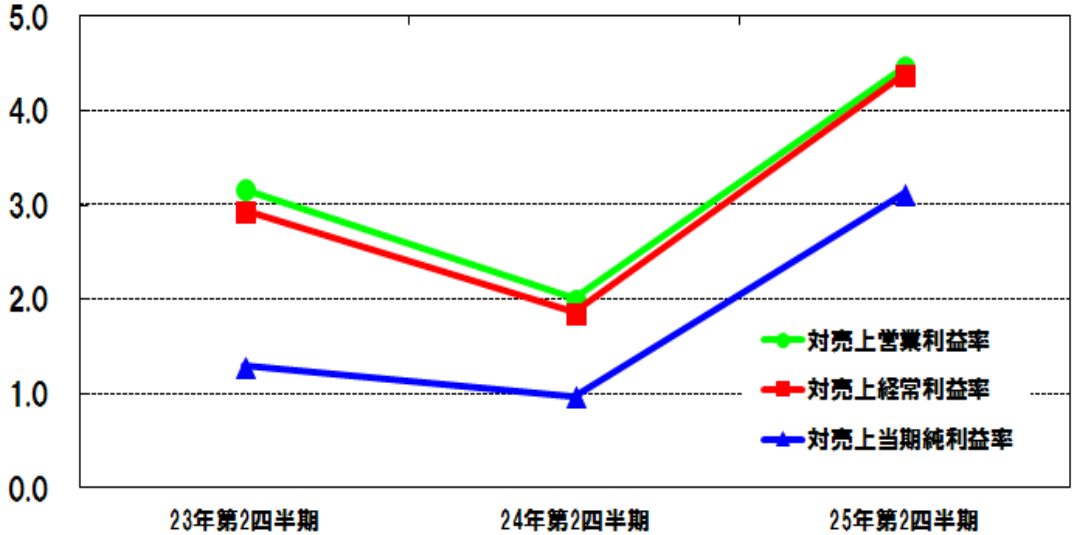
	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	25年3月期 第2四半期
売上高	3,697	3,487	3,577
営業利益(売上高比)	117 (3.2%)	70 (2.0%)	156 (4.4%)
経常利益(売上高比)	109 (2.9%)	65 (1.9%)	153 (4.3%)
四半期純利益(売上高比)	48 (1.3%)	34 (1.0%)	109 (3.0%)

前年同期は、震災の影響等により牛角ブランドが苦戦

当第2四半期は、営業益、経常益、四半期純利益すべてにおいて過去最高益を更新

通期でも最高益更新を目指す

（単位 %）



Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

④　バランスシートの改善

（単位：百万円）

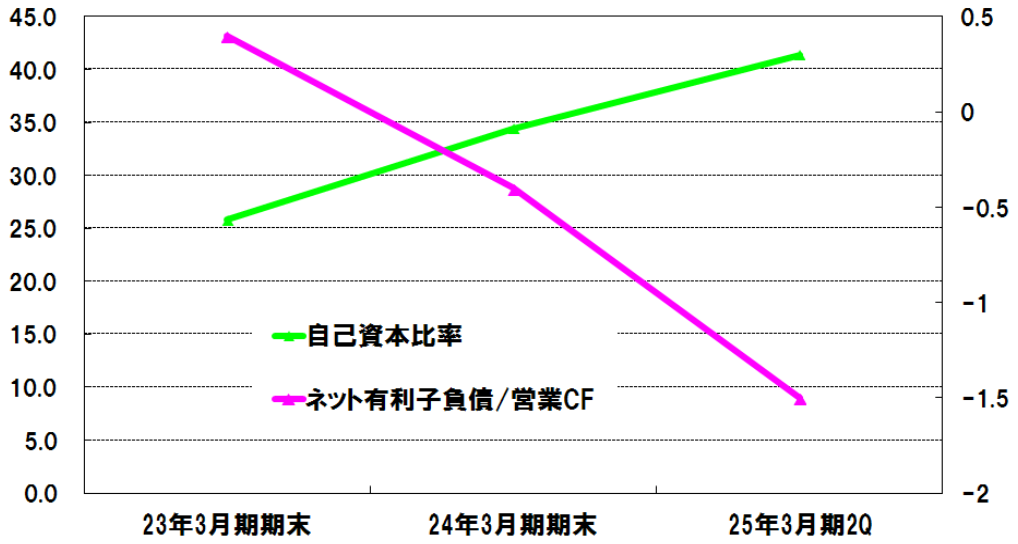
	23年3月期 期末	24年3月期 期末	25年3月期 第2四半期末
ネット有利子負債※	182	▲193	▲442
純資産	691	1,017	1,246
自己資本比率	25.8%	34.4%	41.4%
ネット有利子負債 /営業CF	0.4	▲0.4	▲1.5

※ネット有利子負債＝有利子負債 － 現預金

自己資本比率は41.4%と向上し、財務安定性強化

ネット有利子負債は▲442百万円と余剰資金を保有

余剰資金と営業CFを活用するとともに、財務レバレッジを高めつつ、次なる成長に向けた積極的投資を行う。



Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

Ⅱ. 平成25年3月期第2四半期 振り返りと今後の課題

① グループ各社の業績

② 業態別店舗数の推移

③ ブランドごとの施策及び今後の取り組み

④ 取り組むべき課題

⑤ 通期業績予想（決算短信ご参照）

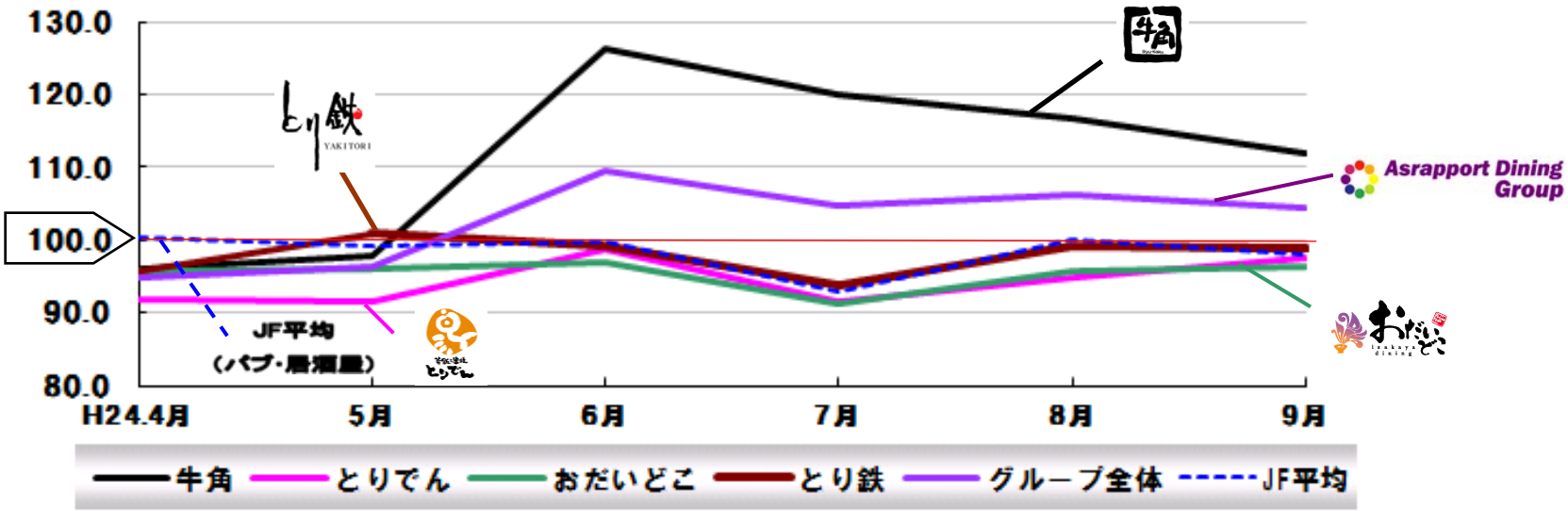
Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

① グループ各社の業績　既存店売上高前年比

（%）

	H24.4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期
牛角	96.0	97.8	126.3	120.1	116.8	111.9	110.5
とりでん	92.0	91.5	98.6	91.7	95.0	97.6	94.2
おだいどこ	95.8	96.2	97.1	91.2	95.8	96.5	95.4
とり鉄	95.7	100.9	99.2	93.9	99.2	99.0	97.8
グループ全体	94.9	96.5	109.5	104.8	106.2	104.3	102.4
JF平均	100.4	99.2	99.7	92.9	100.0	98.1	98.4

※JF（日本フードサービス協会）



牛角：110.5%　とりでん：94.2%　おだいどこ：95.4%　とり鉄：97.8%　**グループ合計　102.4%**

Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

②　業態別店舗数の推移

	24年3月期 期首店舗数	25年3月期 期首店舗数	出店数	退店数	25年3月期 第2四半期末 店舗数	25年3月期末 店舗数 （計画）	期首比 増減
㈱プライム・リンク	274	270	3	7	266	273	3
牛角	172	169	0	3	166	168	▲1
とりでん	72	72	2	2	72	76	4
おだいどこ	27	26	1	1	26	26	0
その他	3	3	0	1	2	3	0
㈱とり鉄	68	69	1	0	70	70	1
とり鉄	67	68	1	0	69	69	1
烏鳥天〇（うちょうてんまる）	1	1	0	0	1	1	0
㈱フードスタンド インターナショナル	0	12	0	2	10	13	1
たこばやし	0	9	0	2	7	10	1
うまいもんや	0	3	0	0	3	3	0
グループ総合計	342	351	4	9	346	356	5

Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

牛角 Gyu-Kaku

③ 施策及び今後の取り組み

施策

肉の品質向上、安全対策がメディアに取り上げられたことなどもあり、前期比が回復

全55品目特別割引キャンペーン

「夏だ、行くぜ！牛角」キャンペーン

今後の取り組み

・肉の品質とサービス力の向上による、「体験価値向上」を目指す。

Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

③ 施策及び今後の取り組み

施策

テイクアウトメニュー導入による中食需要の取り込み

加盟店オーナーによる鶏肉加工場の視察

居抜活用で、初期投資を抑えたFC店舗を2店舗オープン（黒部店、小松店）

今後の取り組み

- 低投資モデルにより、積極的なFC出店を目指す。
- テイクアウトによる売上・利益の効率的な確保、メニュー見直しによる減価低減に取り組む。

Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

③ 施策及び今後の取り組み

施策

ご当地ドリンクキャンペーン

期間限定・青森まちおこしメニュー導入
青森県、B-1グランプリとも提携し、地域の魅力を発信する試みを実施

今後の取り組み

・地域との取り組みの強化で、「ご当地居酒屋」としての　付加価値を追求する。

Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

③ 施策及び今後の取り組み

施策

「会津地鶏」のさまざまな部位を使ったメニューを導入

串半額フェアの実施による新規顧客層の開拓

今後の取り組み

- 生産者との連携を強め、魅力的な食材を身近な価格で提案する。
- メニューおよび調達の効率化により、原価の低減と付加価値のアップに取り組む。
- サービス力向上を目指したメニュー構成や、インナーキャンペーンの実施。

Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

③ 施策及び今後の取り組み

施策

「たこばやし・海の家湘南」を期間限定で湘南海岸に出店、「たこばやし」ブランドの関東圏での認知向上に取り組む

ぼてぢゅう屋台と業務提携、メニューの相互販売を開始

今後の取り組み

- 大手ホームセンター、フードコートへの出店強化による店舗拡大に取り組む。
- 「ぼてぢゅうグループ」との業務提携を進める。

Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

④ 取り組むべき課題

1. 既存ブランドにおける品質とサービスの追求
2. ブランド・ポートフォリオの多様化
3. フランチャイズ運営ノウハウをいかしたFC展開支援
4. 海外市場への進出
5. 自社ブランド商品の開発と、業務用食材等の外販事業

Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.

この資料に掲載しております当社の計画および業績の見通し、戦略などは、発表日時点において把握できる情報から得た判断に基づいています。

あくまでも将来の予測であり、下記に挙げております様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

・市場における価格競争の激化
・事業環境を取巻く経済動向の変動（個人消費を中心とした経済状況の変動）
・資本市場における相場の大幅な変動（株式市場相場の大幅な変動）
・税制の大幅な改正
・上記以外の様々な不確定要素

お問い合わせ先
株式会社アスラポート・ダイニング
経営企画本部　経営企画部　広報IR課
TEL:03-6459-3235
FAX:03-5791-7161
e-mail : info@asrapport-dining.com

Copyright (C)2012 Asrapport Dining Co., Ltd. All Right Reseaved.